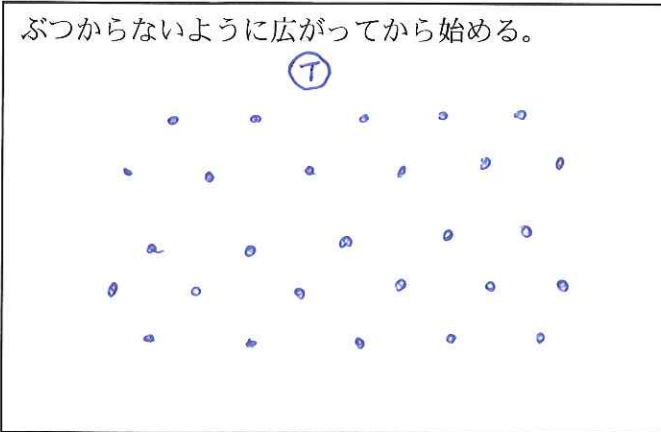


なわとび体操 \*持つ、支える、振る、投げる、走る、跳ねる、

【環境図】 園庭



【導入・内容】

【導入】事前に、学級ごと縄に親しんでおく。

「なわとびがいろいろなものに変身するよ」「やってみよう！」等話し、広い場所を確保して「さんぽ♪」の曲に合わせて。体操をできるようにする。

【内容】

・「さんぽ」の曲に合わせて、縄を使った動きをする。

- 1、頭の上で縄を両手で持ち、体を伸ばしながら歩く
- 2、縄を一本橋に見立てて渡る
- 3、縄をへびに見立てて、持ちながら走る
- 4、縄を池に見立てて、中にジャンプして入ったり出たりする。周りを歩いたり、走ったりする。
- 5、片手に縄を持ち、回しながらジャンプする（左右）
- 6、縄をマントに見立てて走る
- 7、縄をボールに見立てて、空に向かって投げてキャッチする。

幼児が楽しんで取り組むための環境の工夫・教師の援助

○動き □心情 ☆人 ◇他

- 縄を使った動きがたくさんあることを知らせ、遊びの中で縄を使った遊びを十分楽しめるようにし、縄に親しめるようにする。
- ☆教師も一緒になって遊びを楽しみ、イメージがふくらむような言葉をかけ、楽しめるようにする。
- 縄が跳ぶためだけのものではなく、いろいろな遊び方をしていいことが分かり安心して遊べるようにする。
- ☆学級や学年で一斉に行う機会を作り、先生や友達と同じ動きをする楽しさを感じられるようにする。
- ◇好きな遊びの中で、なわとびのコーナーを設定し、カセットデッキを用意して自分たちでなわとび体操を楽しめるようにする。
- ◇こどもたちが口ずさんだり音楽に合わせて楽しく+動いたりできるように「さんぽ」の曲を使用する。